

資料館だより

平成 25 年 (2013) 通巻第 9 号

- 水巻の版画家うえだひろし追悼作品展
- 平成 24 年度事業報告
- 平成 25 年度事業予定
- 寄贈してください
- 刊行物紹介
- ギャラリー利用案内

「水巻の版画家うえだひろし追悼作品展」

平成 24 年度の企画展示では、11 月 10 日～12 月 24 日まで水巻の版画家うえだひろしさん(1933-2011)の寄贈版画作品など 60 点程度紹介しました。田川市美術館でもうえだ作品が寄贈されたことや炭坑時代の同僚であった千田梅二(1920-97)作品を所蔵していた関係で、「炭鉱の版画家 千田梅二とうえだひろし」展を同日開催しました。2 人とも水巻町の日炭高松炭礦で記録作家の上野英信(1923-83)と知り合い炭坑文芸誌の挿図を製作したことが創作活動の出発点となっています。

水巻ではうえださんの展覧会は今回が初めてであり、多くの方が来館されました。展示では千田梅二やユネスコ世界記憶遺産で有名となった山本作兵衛の作品もあわせて紹介しました。

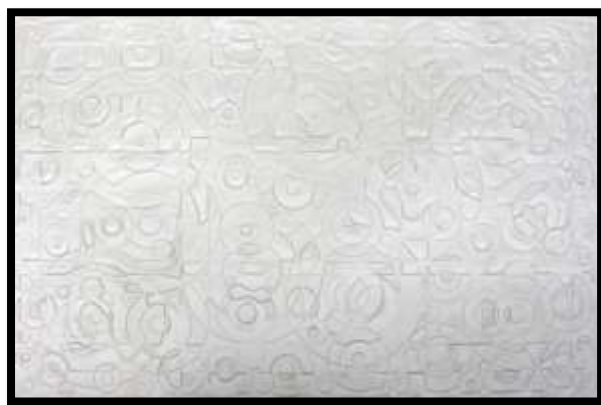
田川市美術館を見学された方、田川から水巻に見学に来られた方もおり、相乗効果があったのではないかと思います。

また、展示期間中、上田昭恵夫人には度々会場まで足を運んでいただき、作品にまつわるエピソードなどを聞くことができました。例えば、「サクランボ」(左下)は山形県から送られてきた小包を題材にしたもので、個展に展示されたときに気に入られ山形の農協のポスターでも使われることになったという話です。「円(空摺り)」(右下)は、版木に濡れた紙を置き機械プレスしたもので、知り合いの東京の家具もしくは木材工場で特別製作したものだそうです。

今回紹介できた作品はごくわずかですので、今後とも継続的に展示していきたいと思っています。



サクランボ 2000 年



円(空摺り) 1990 年代

収蔵資料紹介



この資料は「ガンガン七輪」と呼ばれるものです。

日炭二礦中央工場で作られ各家庭に配給されました。カンテキ＝（鉄でできた七輪）に三角がねを置き、火をおこしました。燃料には、薪や豆炭のほか、川底につもった石炭（どべ炭）を平たい形に固め乾燥させた（たどん）やボタ山から拾った石炭がらを用いました。火力が非常に強く激しい炎と煙が出るのでおさまるまで待ってから室内に入れて煮焚きをしました。このような光景が炭鉱社宅街のあちこちで見られました。

寄贈してください

歴史資料館では、昭和以前の衣食住の生活に関わる古いものを集めています。昔の道具・おもちゃ・お金・衣類・写真・音声・文書（古文書、30年以上前の雑誌・新聞・広告・教科書等）など、歴史を語る品々の寄贈をお待ちしています。その道具のエピソードや時代背景なども分かる範囲でお知らせいただくと幸いです。なお、寄贈された資料の取り扱いについては、資料館に一任していただくことになります。

平成 24 年度事業報告

■ 野鳥観察会



日時 5月12日(土)、9月16日(日)

講師 日本野鳥の会筑豊
梶原剛二さん

内容 図書館周辺～明神ヶ辻山を歩きながら、双眼鏡やスコープで野鳥を観察しました。9月16日は天候不良のために今までに撮影していた野鳥の産卵から巣立ちまでのDVD鑑賞をしました。また梶原講師に野鳥の生態などの話をいただきました。



※野鳥観察会でみつけた鳥たちの紹介※

トビ・シジュウカラ・ヒヨドリ・スズメ・ツバメ・ウグイス・ハシボソガラス・ハシブトガラス・カワラヒワ・ムクドリ・メジロ・コゲラ・キビタキ・オオルリ・ホオジロ(15種類)



■ 郷土史家柴田貞志の軌跡展

期 間 6月12日(火)～7月1日(日)

来館者 2,147名

内 容 郷土史研究の柴田先生が亡くなられて20年を迎えました。数多くの研究資料を寄贈していただき、これら資料から柴田先生の足跡をたどりその業績を振り返りました。



■ 古代のペンダントづくり

期 間 8月25日(日)

午前の部 12名 午後の部 14名

内 容 勾玉を滑石で作りました。紙やすりで磨いて形を作り、ドリルで穴をあけ、好きな色のマジックで色付けして、ヒモを通して、「古代のペンダント」が出来上がりました。



■ 企画展『水巻の版画家うえだひろし追悼展』

期 間 11月10日(土)～12月24日(月)

来館者 1,976名

内 容 版画家上田博さんの遺作品を町に寄贈していただきましたので、町民の皆さんに鑑賞していただくことを企画しました。また田川市美術館と同時開催「炭鉱の版画家千田梅二とうえだひろし展」の鑑賞ツアーも行いました。



■ 蓄音機レコード鑑賞会

期 間 1月26日(土)

① 11:00～②14:00～ 延べ11名

内 容 蓄音機で昭和30年代のレコードをかけて音楽を鑑賞しました。



■ 歴史講演会『遠賀川下流域の古代』

日 時 2月9日(土)視聴覚ホール

講 師 武田光正さん(遠賀町教育委員会)

参加者: 32名

内 容 主に奈良時代(7～8世紀)の遠賀川下流域周辺のお話をいただきました。発掘調査の成果(スライド)を交えながら遠賀郡衙と島門駅の謎に迫る説明でした。



刊行物紹介

歴史資料館では、水巻町に関する書籍を事務室で販売しています。
あなたの町を再発見してみませんか！！

平成 25 年度事業予定

日時・内容など変更になることがありますので、事前にご確認下さい。

■ 野鳥観察(図書館周辺)

人数 15名(事前申込・応募多数の場合は抽選)

参加費 無料

期日 第1回 5月11日(土) 9:30~12:00
第2回 9月中旬 9:30~12:00
第3回 3月上旬 9:30~12:00

■ 『うえだひろし版画展』

期日 7月2日(火)~30日(火)

内容 24年度企画展で紹介できなかった作品を
展示します。

■ 夏休み自由研究支援(古代の土器づくり)

人数 15名(事前申込・応募多数の場合は抽選)

参加費 無料

期日 第1回 7月上旬(形づくり)
第2回 8月上旬(土器焼き)

■ 企画展『水巻の炭鉱とその暮らし 2』(仮題)

期日 11月6日(水)~12月1日(日)

内容 24年に寄贈された杉本昭さんの写真(炭鉱関係)
などの展示

■ 歴史講演会「遠賀郡の歴史について」(未定)

期日 2月上旬

内容 未定

ギャラリー利用案内

歴史資料館の企画展示室は、町民ギャラリーとして、営利目的や宗教活動・政治活動・管理運営上支障がある場合などを除き、町内の方々に発表の場として無料で貸し出しています。

ご利用希望日の月を含む3ヵ月前から2週間前までに資料館事務室へお申し出下さい。

その他の販売冊子案内

水巻昔ばなし	1,000円
水巻おもいでの写真集	1,000円
増補 水巻町誌	4,000円
わたしたちのまち水巻	1,000円
水巻の炭鉱とその暮らし	200円
石炭物語	2,000円
砧姫物語	1,300円



題名・年代不明/木版(多色)/うえだひろし作



日炭高松第二礦業所坑口周辺風景

昭和28年頃(杉本昭氏寄贈)

水巻町歴史資料館

807-0012 水巻町古賀三丁目18番1号

Tel 093-201-0999 Fax 093-201-0995

<http://museum.town.mizumaki.lg.jp/>